

検査Ⅲ 美 術

(解答上の注意) 解答は、全て解答用紙に記入すること。

1 次の文章は、明治期の日本画に関する説明である。次の各問いに答えなさい。

明治維新に伴う開国は、政治、文化、社会などあらゆる面で、西洋文物摂取の方向へと向かわせた。それは日本の伝統的画派であった狩野派に、壊滅的な崩壊をもたらした。この窮地を打破したのが、(A) であり、彼の通訳として登場したのが岡倉天心である。天心は初めのうちこそ (A) の片腕であったが、明治 20 年に東京美術学校が創立されると幹事となり、明治 23 年には東京美術学校校長に任命される。この東京美術学校に入学した第一期生の中には、横山大観、(B)、西郷孤月がおり、その後、菱田春草や木村武山などが入学した。また、日本画のみで開講された美術学校には、開校直前に没した a のあとをうけた橋本雅邦が教諭として就いた。明治 31 年、西洋画科設置に端を発した美術学校内の動揺や、天心排斥運動などの余波を受け、天心は東京美術学校校長を辞めざるをえなくなる。この追われるような辞め方に美術学校内は騒然とし、最終的には、雅邦、(B)、大観、孤月、春草らが天心と行動を共にした。野に下った天心は日本美術院を設置し、日本美術院第 1 回展覧会を開催する。この展覧会で、大観は「(C)」を、(B) は「闇維」を出品し、天心の期待に応えた。こうして、華々しく出立した日本美術院だったが、3 年目には翳りが見え始めた。一因は、春草、大観らの b 絵画にあった。この絵画はほとんど一般には理解されなかったばかりか、「縹緲体」や「ぬえ的絵画」とまでいわれて嘲笑された。こうした強い風当たりや内部の亀裂、さらには主要メンバーが海外に出かけてしまったことから、明治 36 年に日本美術院は終了することとなる。

(1) 文中の (A) に当てはまる人物名を、以下の＜ 語群 1 ＞から選び、記号で答えなさい。

＜ 語群 1 ＞

① フェノロサ	② フォンタネージ	③ キヨッソーネ
---------	-----------	----------

(2) 下の作品は、文中の a が描いた作品である。この作家名を答えなさい。

「悲母観音」

検査Ⅲ 美 術

- (3) 文中の(B)に当てはまる人物名を、以下の＜ 語群 2＞から選び、記号で答えなさい。

＜ 語群 2＞

① 下村観山	② 川合玉堂	③ 速水御舟
--------	--------	--------

- (4) 下の作品は、文中の(C)である。この作品名を、＜ 語群 3＞から選び、記号で答えなさい。

＜ 語群 3＞

① 無我	② 流灯	③ 屈原
------	------	------

- (5) 下の作品は、文中の

b

 による作品である。

b

 に入る語句を答えなさい。

「菊慈童」

菱田春草

- (6) 下の作品は、横山大観とほぼ同時期に、関西を中心に活躍した作家の作品である。この作家名を答えなさい。

「斑猫」

検査Ⅲ 美 術

2 次の文章は、シュルレアリスムに関するものである。次の各問いに答えなさい。

a ダダイズムを経験したアンドレ・ブルトンは1924年「シュルレアリスム宣言」を書き、『シュルレアリスム革命』誌を刊行する。シュルレアリスムは、オートマティスム（自動書記）を通して理性の抑制から解放されて、無意識へ至ることを目指し、独自の宣言を揚げた集団的な運動として展開した。彫像やマネキン、見慣れた対象を結び付けて夢のような謎めいた雰囲気喚起する の「形而上絵画」は、シュルレアリスムの一つのモデルとなった。アンドレ・マッソン、マックス・エルンスト、オスカー・ドミンゲスは、デッサンの実践や砂絵、フロッターージュ（擦り出し）や（B）（削り出し）、デカルコマニー（転写）を含む多様な手法を展開し、オートマティスムを視覚芸術において実践しようとする。ベルギーのルネ・マグリットは、1920年代後半にパリに滞在し、対象を本来あるべき文脈からずらすことで違和感を喚起する「（C）の原理」によって概念と描写的なイメージの関係を攪乱した。ルイス・ブニエールと映画『アンダルシアの犬』（1929年）を製作した は、緻密な写実描写を通して現実を変形し、だまし絵的手法やダブル・イメージ（隠し絵）によって夢や無意識の欲望を喚起して、1930年代のシュルレアリスム絵画を特徴づけた。

- （1） 下の作品は、下線部 a の作家の作品である。この作品を制作した作家名を答えなさい。

「泉」

- （2） 下の作品は の作品である。 に入る作家名を答えなさい。

「不安な美神たち」

検査Ⅲ 美術

(3) (B) に入る語句は何か、答えなさい。

(4) (C) に入る語句を< 語群 >から選び、記号で答えなさい。

< 語群 >

① デペイズマン ②アッサンブラージュ ③アプロプリエーション

(5) D に入る作家名を答えなさい。

(6) 次の①～③はシュルレアリスムの作家の作品である。正しい作家名を < 語群 > (ア) ～ (オ) からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

①

②

③

< 語群 >

(ア) アンドレ・マッソン (イ) ジョアン・ミロ (ウ) ドロテア・タニング
(エ) マックス・エルンスト (オ) イヴ・タンギー

3 次の文章は、ギリシャ・ローマの美術に関するものである。次の各問いに答えなさい。

(A) 時代には、アテネなどの地域でも本格的に大理石彫刻が始まると、彫像は急速に自然な人体表現を獲得していく。ただし、ポーズは変化に乏しく、「クーロス」や「a コレー」と呼ばれる画一的な大理石像が、神域への奉納品や墓標としてつくられた。神殿建築ではドリス式、イオニア式という二つの建築オーダーも定まっていた。

クラシック時代には、アテネにエンタシスの柱と水平の基壇や梁が見事に比例と調和を見せて

検査Ⅲ 美 術

いる（ B ）が建設された。

ヘレニズム時代には、実際の戦場を表現したかのような戦闘図が描かれ、神域に奉納される戦勝モニュメントも現実を反映するようになる。彫刻では神々はより人間に近づいた姿で表され、感情や動勢、官能が大胆に表現された。

ローマの美術はギリシャの影響の下で始まった。強大な国力にふさわしい大規模な建造物が多くつくられたことが、特徴に挙げられる。彫刻は、皇帝の肖像などが数多くつくられた。

（1） 文中（ A ）に入る適切な語句を答えなさい。

（2） 下線部 a コレーと呼ばれる大理石像を、次の①～③から選び記号で答えなさい。

①

②

③

（3） （ B ）に入る語句を答えなさい。

（4） クラシック時代、ヘレニズム時代、ローマ時代に制作された作品を、次の①～③からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

検査Ⅲ 美 術

①

②

③

4 次の文章は、遠近法に関する説明である。次の各問いに答えなさい。

15 世紀における遠近法の展開は、(A) の描いた 2 枚のパネル画で幕を開け、彼がここで示したのが (B) である。

(B) は、水平線と消失点を決めて描くことで遠近感を出す方法である。このうち、M. C. エッシャーの「バベルの塔」(図 1) のように、水平線の両端にある二つの消失点に加えて、縦方向にもう一つ消失点があるものを a 図法という。

b 遠近法は、近くのもの濃くはっきりと、遠くのものは淡く弱く表すことで遠近感を表す方法である。この方法は、レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」(図 2) にも用いられた。

図 1

図 2

(1) 文中の (A)、(B) に当てはまる語句を、以下の＜語群＞から選び、記号で答えなさい。

検査Ⅲ 美術

< 語群 >

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| ① ブルネッレスキ | ② アルベルティ | ③ マザッチョ |
| ④ 黄金比 | ⑤ 線遠近法 | ⑥ 逆遠近法 |

(2) 文中の 、 に当てはまる語句を答えなさい。

- 5 作品 A はルネサンス後期に制作され、作品 B は続くマニエリスム期に制作された作品である。2つを比べると、時代が古い作品 A は、より正確な人体表現で描かれているのに対し、作品 B は非合理的な空間表現で描かれている。美術ではなぜこのようなことが起こるのか、自身の考えを 100 字程度で述べなさい。

作品 B

作品 A